

令和 6 年度事業報告

令和 6 年度において実施した事業については、次のとおりである。

第 1 概 要

1 健康診断事業の推進

住民健診事業では、前年度より特定健康診査が増加したが、各種がん検診等が減少となった。一方で、事業所健診事業については、定期健康診断では減少したものの、ドック健診及び協会けんぽ健診は増加となった。特定健康診査等の合計では、約 0.5% にあたる 728 人増加の 147,797 人の実施となり、がん検診等では前年度比約 1.4% にあたる延人数 6,921 人減少の 485,441 人の実施となった。

2 健診システム及び検診方法のDX化の推進

当センターは、開設以来青森県全域をカバーする巡回健診業務を行っており、近年、青森県の人口減少等の影響により、市町村での集団検診等の受診者数が減少傾向にあることから、稼働から 30 年以上経過している現在の健診システムの見直しが不可欠となっている。このため、当センター内部において、“よりスマートな健診を目指して” デジタル技術を活用した健診運用体制の見直し作業に着手した。

令和 6 年度においては、当センター職員自ら「今後の方針と将来のビジョン」を策定し、関係者等にお示しするとともに、早期に実現可能な見直し内容から段階的に導入するべく、下記の内容について当センター職員はもとより、市町村担当者との協議を進めてきた。

- ・受診票の複写式の廃止と受診票の統廃合の実施
- ・全市町村での事前採尿方式の導入
- ・少人数の受診者に対応した巡回健診事業の見直し（予約制の導入等）

3 がん検診受診率・精検受診率の向上強化

各市町村及び各事業所等に精密検査の受診率向上を目的とした精検受診勧奨パンフレットを 10,000 部作成し配布した。また、市町村において独自の受診率の向上策を強化するため、希望のあった 35 市町村に対して、受診勧奨パンフレットのデーターを無償で提供するとともに、ペーパーレス化を図った。

4 検診機器等の整備

- | | |
|-------------------------------|---------|
| (1) 子宮がん検診車 | 1 台（更新） |
| (2) キヤノン多目的デジタルX線TVシステム | 1 式（更新） |
| (3) 胃部X線システムESPACIO AVANT | 1 式（更新） |
| (4) オリンパス上部消化管汎用ビデオスコープ | 1 式（新規） |
| (5) 超音波診断装置 | 1 台（更新） |
| (6) 第四期特定健診・特定保健指導改正対応プログラム改修 | 1 式（改修） |

第2 通 常 事 業

1 検診及び受託検査等の総括

市町村、事業所等の委託を受け、検診・検査事業を弘前大学大学院医学研究科、保健所、医師会及び医療機関の協力・指導のもとに次のとおり実施した。

前年度に比較し、検診の分野では特定健康診査及び各種がん検診等の受診が減少したことにより、全体では6,873人の減少となった。

また、受託検査等については、細胞診の受託数が減少し、全体で680件の減少となった。

検診及び検査等総括表

単位：人

年度 検診項目	令和6年度	令和5年度	増減(△減)	備 考
1 特 定 健 康 診 査	53,003	52,409	594	
2 定 期 健 康 診 断	67,496	67,988	△ 492	
3 人 間 ド ッ ク 健 診	6,801	6,566	235	
4 協 会 け ん ぽ 健 診	20,497	20,106	391	
特定健康診査等 計	147,797	147,069	728	
5 結 核 検 診	141,585	142,742	△ 1,157	
6 肺 が ん 検 診	82,321	82,476	△ 155	
7 胃 が ん 検 診	64,488	67,252	△ 2,764	
8 大 腸 が ん 検 診	96,498	96,810	△ 312	
9 子 宮 が ん 検 診	35,618	34,942	676	
10 乳 が ん 検 診	20,839	21,927	△ 1,088	
11 前 立 腺 検 査	10,564	13,066	△ 2,502	
12 学校心臓検診(心電図検査)	9,251	9,702	△ 451	
13 骨 密 度 測 定 検 診	9,360	8,927	433	
14 腹 部 超 音 波 健 診	12,754	12,429	325	
15 特 定 保 健 指 導	2,163	2,089	74	
がん検診等 計	485,441	492,362	△ 6,921	
16 細 胞 診 受 託 検 査	22,164	22,844	△ 680	
受託検査等 計	22,164	22,844	△ 680	
総延人数	655,402	662,275	△ 6,873	

2 各種検診、検査等別実施状況

(1) 特定健康診査

健診車5台、機器運搬車7台で、市町村の保健センター等とセンター診療所で原則として40歳以上の者を対象に実施した。

受診者は 53,003人で、そのうち要精検は 10,649人（20.1%）、医療継続は 34,452人（65.0%）、要指導 7,027人（13.3%）となった。

特定健康診査実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検		医療継続		要指導		実施日数	1日当り 実施人員
			人員	率	人員	率	人員	率		
巡回検診	市町村	45,092	8,783	19.5	30,267	67.1	5,694	12.6	550	82
	社保等	2,716	672	24.7	1,314	48.4	275	10.1		5
センター	市町村	4,229	956	22.6	2,521	59.6	727	17.2	74	57
	社保等	794	190	23.9	284	35.8	275	34.6	149	5
健管センター	社保等	172	48	27.9	66	38.4	56	32.6	102	2
合 計		53,003	10,649	20.1	34,452	65.0	7,027	13.3	875	61

(2) 定期健康診断

事業所の従業員等を対象にコース別に実施した。

Aコースで 13,032人、Cコースで 44,214人、その他のコースで 10,250人の計 67,496人が受診し、受診者の 22.3%に当たる 15,036人が要精検となり、37.5%に当たる 25,322人が要指導となった。

Aコース 34歳以下の者及び36歳以上39歳以下の者を対象とする。

（胸部X線撮影・身長体重測定・視力検査・聴力検査・血圧測定・尿検査・聴打診）

Cコース 35歳の者及び40歳以上の者を対象とする。

（胸部X線撮影・身長体重測定・視力検査・聴力検査・血圧測定・尿検査・聴打診・心電図検査・貧血検査・血糖検査・肝機能検査・血中脂質検査・腎機能検査）

その他のコース 簡易健康診断等

定期健康診断実施状況

年 方式別	実 施 人 員				要 精 検		要 指 導		実施日数	一日当り 実施人員
	Aコース	Cコース	その他の コース	計	人員	率	人員	率		
巡回検診	9,514	29,912	8,674	48,100	10,532	21.9	17,472	36.3	706	68
センター	2,062	8,937	1,262	12,261	2,724	22.2	4,837	39.5	237	52
健康管理センター	1,456	5,365	314	7,135	1,780	24.9	3,013	42.2	212	34
合 計	13,032	44,214	10,250	67,496	15,036	22.3	25,322	37.5	1,155	58

(3) 人間ドック健診

ア. 一日ドック簡易コース

各事業所の委託を受け前年度 631人より 71人増加の 702人に実施し、31.9%に当る 224人が要精検となり、24.5%に当る 172人が要指導となった。

イ. 一日ドック標準コース

各事業所の委託を受け前年度 4,372人より 115人増加の 4,487人に実施し、34.0%に当る 1,525人が要精検となり、22.2%に当る 995人が要指導となった。

ウ. 二日コース

各事業所の委託を受け前年度105人より 3人増加の 108人に実施し、38.9%に当る 42人が要精検となり、9.3%に当る 10人が要指導となった。

エ. その他のコース

各事業所の委託を受け前年度 1,458人より46人増加の1,504人に実施し、27.9%に当る 420人が要精検となり、18.1%に当る272人が要指導となった。

○人間ドック健診におけるがん検診等実施数（再掲）

	ドックセンター	健管センター	合 計
肺がん検診	6,081	659	6,740
胃がん検診	4,867	507	5,374
大腸がん検診	5,934	651	6,585
子宮がん検診	1,778		1,778
乳がん検診	2,237		2,237
前立腺検査	3,328	418	3,746
腹部超音波健診	6,101	657	6,758
骨密度測定検診	2,725		2,725

(4) 協会けんぽ健診

全国健康保険協会の委託を受けセンター診療所 5,138人、附属あおもり人間ドックセンター 1,028人、附属あおもり健康管理センター 14,331人、計 20,497実施し、前年度 20,106人より 391人増加となった。

○協会けんぽ健診におけるがん検診等実施数（再掲）

	センター	ドックセンター	健管センター	合 計
結核検診	5,065	838	14,261	20,164
胃がん検診	3,484	798	10,125	14,407
大腸がん検診	4,716	993	13,563	19,272
子宮がん検診	360		849	1,209
乳がん検診	247		732	979
腹部超音波健診（付加）	291	209	616	1,116

(5) 結核検診

検診車10台による巡回検診とセンター診療所で、原則として65歳以上の者を対象に実施した。

受診者は、市町村（一般住民）46,678人、事業所 70,531人、学校関係 14,414人（高校生 8,712人、大学生 4,992人、その他 710人）社会福祉施設 9,962人、計 人で、前年度よりも 1,157人の減少となった。

なお、受診者 141,585人中 1.9%の 2,653人が要精検となった。

結核検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要 精 検		実施日数	1日当り実施人員
			人員	率		
巡回検診	市町村	43,403	237	0.5	607	72
	事業所	35,468	509	1.4	688	87
	学校関係	14,320	130	0.9		
	社会福祉施設	9,962	943	9.5		
	小計	103,153	1,819	1.8	1,295	80
センター	市町村	3,275	0	0.0	76	43
	事業所	13,939	378	2.7	240	58
	学校関係	94	0	0.0		
	社会福祉施設	0	0	0.0		
	小計	17,308	378	2.2	316	55
健管センター	事業所	21,124	456	2.2	361	59
合 計	市町村	46,678	237	0.5	683	68
	事業所	70,531	1,343	1.9	928	102
	学校関係	14,414	130	0.9		
	社会福祉施設	9,962	943	9.5		
		141,585	2,653	1.9	1,611	88

(6) 肺がん検診

原則として40歳以上の者を対象とするX線撮影をベースとし、50歳以上のハイリスク者には喀痰細胞診検査を併せて実施した。

ア. X線撮影	受診者は市町村(一般住民) 58,741人、事業所 23,020人、事業所(C T) 560人の計 82,321人で、2.4%に当る 1,951人が要精検となった。
イ. 喀痰細胞診検査	受診者は市町村(一般住民) 639人、事業所 2,032人の計2,671人であった。

肺がん検診実施状況

方 式 別		区分	実施人員	要 精 検		実施日数	1日当り 実施人員
				人 員	率		
X線撮影	巡回検診	市町村	53,743	1,338	2.5	607	89
		事業所	14,026	184	1.3	256	55
		小 計	67,769	1,522	2.2	863	79
	センター	市町村	4,998	144	2.9	76	66
		事業所	2,377	42	1.8	174	14
		小 計	7,375	186	2.5	250	30
	ドックセンター	事業所	5,533	140	2.5	213	26
	健管センター	事業所	1,084	24	2.2	220	5
		市町村	58,741	1,482	2.5	683	86
		事業所	23,020	390	1.7	863	27
		小 計	81,761	1,872	2.3	1,546	53

X線撮影 (CT)	ドックセンター	事業所	548	75	13.7	197	3
		事業所(二次)	12	4	33.3		
		小 計	560	79	14.1		
X線撮影		市町村	58,741	1,482	2.5	683	86
		事業所	23,580	469	2.0	1060	22
		合計	82,321	1,951	2.4	1,743	47
喀痰検査	巡回検診	市町村	622	1	0.2		
		事業所	250	0	0.0		
		小 計	872	1	0.1		
	センター	市町村	17	0	0.0		
		事業所	129	0	0.0		
		小 計	146	0	0.0		
	ドックセンター	事業所	455	0	0.0		
	健管センター	事業所	1,198	2	0.2		
		市町村	639	1	0.2		
		事業所	2,032	2	0.1		
		合 計	2,671	3	0.1		

(7) 胃がん検診

検診車8台とセンター診療所で、原則として40歳以上の者を対象に実施した。

受診者は、市町村(一般住民) 34,853人、事業所 29,635人の計 64,488人で、8.0%に当る5,130人が要精検となった。

胃がん検診実施状況

方 式 別		区 分	実施人員	要 精 検		実施日数	1日当り 実施人員
				人員	率		
X線撮影	巡回検診	市町村	32,623	3,001	9.2	892	37
		事業所	7,938	451	5.7	316	25
		小 計	40,561	3,452	8.5	1,208	34
	センター	市町村	2,230	242	10.9	81	28
		事業所	5,455	367	6.7	2724	2
		小 計	7,685	609	7.9	2,805	3
	ドックセンター	事業所	3,573	222	6.2	214	17
	健管センター	事業所	11,014	749	6.8	357	31
	合 計	市町村	34,853	3,243	9.3	973	36
		事業所	27,980	1,789	6.4	3,611	8
		62,833	5,032	8.0	4,584	14	
内視鏡検査	ドックセンター	事業所	1,294	82	6.3	138	9
	健管センター	事業所	361	16	4.4	78	5
	合 計	事業所	1,655	98	5.9	216	8
合 計		市町村	34,853	3,243	9.3	973	36
		事業所	29,635	1,887	6.4	3,827	8
			64,488	5,130	8.0	4,800	13

(8) 大腸がん検診

原則として、40歳以上の者を対象にS P I A法による免疫便潜血検査(2日法)で実施した。

受診者は、市町村(一般住民) 56,819人、事業所 39,679人の計 96,498人で、5.4%に当る5,203人が要精検となった。

大腸がん検診実施状況

方 式 別	区 分	実 施 人 員	要 精 検	
			人 員	率
巡回検診	市町村	52,099	3,186	6.1
	事業所	11,036	466	4.2
	小 計	63,135	3,652	5.8
センター	市町村	4,720	287	6.1
	事業所	7,420	351	4.7
	小 計	12,140	638	5.3
ドックセンター	事業所	5,900	229	3.9
健管センター	事業所	15,289	681	4.5
合 計(便潜血検査)	市町村	56,819	3,473	6.1
	事業所	39,645	1,727	4.4
		96,464	5,200	5.4
内視鏡検査(ドックセンター)	事業所	34	3	8.8
合 計	市町村	56,819	3,473	6.1
	事業所	39,679	1,730	4.4
		96,498	5,203	5.4

(9) 子宮がん検診

検診車2台とセンター診療所で、原則として隔年で20歳以上を対象とする子宮頸がん検診を実施した。

子宮頸がん検診受診者は、市町村(一般住民) 30,379人、事業所 5,239人の計 35,618人で、受診者の 1.6%に当る 574人が要精検となった。

子宮がん検診実施状況

1) 子宮頸がん検診

方 式 別	区 分	実施人員	要精検		実施日数	1日当り 実施人員
			人員	率		
巡回検診	市町村	12,487	124	1.0	247	51
	事業所	802	25	3.1	25	32
	小 計	13,289	149	1.1	272	49
センター	市町村	1,676	16	1.0	63	27
	事業所	1,360	24	1.8	77	18
	小 計	3,036	40	1.3	140	22
ドックセンター	事業所	1,778	14	0.8	109	16
健管センター	事業所	1,299	14	1.1	43	30
日母検診	市町村	16,216	357	2.2		
合 計	市町村	30,379	497	1.6	310	
	事業所	5,239	77	1.5	254	
		35,618	574	1.6	564	

(10) 乳がん検診

検診車3台で、市町村の保健センター等とセンター診療所で原則として隔年で40歳以上を対象に実施した。

実施方法は、40～59歳はマンモグラフィ2方向撮影、60歳以上はマンモグラフィ1方向撮影とした。

受診者は、市町村(一般住民) 16,024人、事業所 4,815人の計 20,839人で、7.2%に当る1,491人が要精検となった。

乳がん検診実施状況

方式別	区分	方法	実施人員	要精検		実施日数	1日当り 実施人員
				人員	率		
巡回健診	市町村 事業所	X線	14,042	932	6.6	247	57
		X線	480	35	7.3	16	30
		計	14,522	967	6.7	263	55
センター	市町村 事業所	X線	1,982	151	7.6	60	33
		X線	921	73	7.9	70	13
		計	2,903	224	7.7	130	22
ドックセンター	事業所	超音波	615	43	7.0	134	超音波
		X線	43	3	7.0		16
		超音波+X線	1,579	153	9.7		X線
		計	2,237	199	8.9		12
健管センター	事業所	X線	1,177	101	8.6	161	7
合 計	市町村 事業所	X線	16,024	1,083	6.8	307	52
		超音波	615	43	7.0	381	超音波
		X線	2,621	212	8.1		16
		超音波+X線	1,579	153	9.7		X線
		計	4,815	408	8.5		11
合 計		超音波	615	43	7.0	688	超音波
		X線	18,645	1,295	6.9		16
		超音波+X線	1,579	153	9.7		X線
		計	20,839	1,491	7.2		29

(11) 前立腺検査

原則として、50歳以上の男性を対象に実施した。受診者は、市町村 819人と事業所 9,745人の計 10,564人で、4.3%に当る 458人が要精検となった。

前立腺検査実施状況

方 式 別	区 分	実 施 人 員	要 精 検	
			人 員	率
巡回検診	市町村	819	51	6.2
	事業所	3,508	182	5.2
	小 計	4,327	233	5.4
センター	市町村	0	0	#DIV/0!
	事業所	780	36	4.6
	小 計	780	36	4.6
ドックセンター	事業所	3,328	120	3.6
健管センター	事業所	2,129	69	3.2
合 計	市町村	819	51	6.2
	事業所	9,745	407	4.2
		10,564	458	4.3

(12) 学校心臓病検診(心電図検査)

受診者は 9,251人で、要精検は 1.8%の 171人、要観察は 0.7%の 64人となった。

学校心臓病検診実施状況

	実施人員	要 精 検		要 観 察		合 計		実施日数	1日当り 実施人員
		人員	率	人員	率	人員	率		
小学校	4,643	87	1.9	34	0.7	121	2.6	71	107
中学校	2,922	49	1.7	16	0.5	65	2.2		
高等学校	1,550	35	2.3	14	0.9	49	3.2	12	129
大 学	136	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	68
合 計	9,251	171	1.8	64	0.7	235	2.5	85	109

※青森市教育委員会(小学校1,630人 中学校1,893人)合計 3,523人は判定なしのため、実施人数には加算していない。

(13) 骨密度測定検診

D X A法(前腕骨骨塩量測定)及び超音波法(踵骨骨量測定)で実施した。

ア. D X A法……………市町村(一般住民) 4,180人、事業所 1,187人、ドック2,725人の計 8,092人で、受診者の 5.9%に当る 474人が要精検となり、13.5%に当る 1,094人が要指導となった。

イ. 超音波法……………市町村(一般住民) 864人、事業所 65人、若年者 339人の計1,268人で、受診者の 9.5%に当る 120人が要精検となり、29.9%に当る 379人が要指導となった。

骨密度測定検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検		要指導		合計		実施日数	1日当り 実施人員
			人員	率	人員	率	人員	率		
D X A法	市町村	4,180	364	8.7	752	18.0	1,116	26.7	152	28
	事業所	1,187	38	3.2	120	10.1	158	13.3	139	9
	ドック	2,725	72	2.6	222	8.1	294	10.8	211	13
	小計	8,092	474	5.9	1,094	13.5	1,568	19.4	502	16
超音波法	市町村	864	108	12.5	341	39.5	449	52.0	30	29
	事業所	65	11	16.9	17	26.2	28	43.1	3	22
	若年者	339	1	0.3	21	6.2	22	6.5	5	68
	小計	1,268	120	9.5	379	29.9	499	39.4	38	33
合 計	市町村	5,044	472	9.4	1,093	21.7	1,565	31.0	182	28
	事業所	1,252	49	3.9	137	10.9	186	14.9	142	9
	ドック	2,725	72	2.6	222	8.1	294	10.8	211	13
	若年者	339	1	0.3	21	6.2	22	6.5	5	68
		9,360	594	6.3	1,473	15.7	2,067	22.1	540	17

※ただし、若年者は再検査として分類をしているが要精検者として計上した。

(14) 腹部超音波健診

各事業所等から委託を受け、12,754人に実施し、その6.2%に当る795人が要精検となった。

腹部超音波健診実施状況

方 式 別	区 分	実 施 人 員	要 精 検	
			人 員	率
巡 回 検 診	市町村	274	23	8.4
	事業所	1,334	42	3.1
	小 計	1,608	65	4.0
セ ン タ ー	市町村	0	—	—
	事業所	1,086	48	4.4
	小 計	1,086	48	4.4
ドックセンター	事業所	6,101	343	5.6
健管センター	事業所	3,959	339	8.6
合 計	市町村	274	23	8.4
	事業所	12,480	772	6.2
		12,754	795	6.2

(15) 特定保健指導

各市町村及び各医療保険者との委託契約のもと、40～74歳までの者を対象に実施した。

受診者は、動機づけ支援 1,135人、積極的支援 1,028人の計 2,163人となった。

腹 囲	追加リスク		対 象	
	①血糖 ②脂質 ③血圧	喫 煙	40～64歳	65～74歳
男性85cm以上 女性90cm以上	2つ以上該当		積極的支援	動機づけ支援
	1つ該当	あ り な し		
	3つ該当		積極的支援	動機づけ支援
上記以外で BMI 25以上	2つ該当	あ り な し		
	1つ該当			

特定保健指導実施状況

	動機づけ支援	積極的支援	計
市町村	303	115	418
社保等	832	913	1,745
合 計	1,135	1,028	2,163

(16) 細胞診受託検査

県立中央病院などの各国公立病院及び関係医療機関からの委託を受け、婦人科、呼吸器科、体腔液及びその他の細胞診検査を 22,164件実施し、前年度よりも 680件の減少となった。

細胞診検査(部位別)実施状況

		陽 性	疑陽性	陰 性	判定不能	合 計
婦 人 科	膣 頸 部	54	1,093	17,535	25	18,707
	体 部	43	103	2,775	224	3,145
	そ の 他	2	1	49	4	56
	小 計	99	1,197	20,359	253	21,908
呼吸器科	喀 痰	0	1	43	45	89
	気 管 支	2	1	26	0	29
	小 計	2	2	69	45	118
体 腔 液	腹 水	0	1	1	0	2
	胸 水	5	1	19	0	25
	小 計	5	2	20	0	27

そ の 他	泌 尿 器	0	3	95	4	102
	乳 腺	0	0	0	0	0
	甲 状 腺	0	0	0	1	1
	消 化 器	0	0	1	0	1
	そ の 他	0	0	7	0	7
	小 計	0	3	103	5	111
合 計		106	1,204	20,551	303	22,164
前 年 度		122	1,273	21,190	259	22,844

第3 県からの委託事業の実施

令和6年度青森県生活習慣病検診従事者指導講習会

- | | |
|---------------------|--------|
| (1) 大腸がん検診従事者指導講習会 | (年1回) |
| 令和7年2月25日 | 参加者19名 |
| (2) 肺がん検診読影従事者指導講習会 | (年1回) |
| 令和7年2月18日 | 参加者32名 |
| (3) 乳がん検診従事者指導講習会 | (年1回) |
| 令和7年1月27日 | 参加者28名 |
| (4) 胃がん検診読影従事者指導講習会 | (年1回) |
| 令和7年2月25日 | 参加者25名 |

第4 普及啓発事業

1 各種検診等の広報普及活動の推進

がん征圧月間、結核予防週間、ピンクリボン月間、生活習慣病予防月間等の周知を図るため、各種保健衛生関連事業に協賛し、地元の新聞、テレビ、ラジオにより広告を行った。

2 普及宣伝資材の購入等

- (1) 結核、がん、生活習慣病等の予防及び健康の保持・増進に関する啓発資料を作成又は購入し各健康まつり、各検診会場で配布した。
- (2) 結核予防会の広報誌「複十字」及び「日本対がん協会報」を定期購入し関係機関等へ配布した。
- (3) 当センター広報誌「やすらぎ青森」を年2回発行し、関係機関等へ延べ1,800部配布した。

3 予防啓発の月間・週間の行事

- (1) 結核予防、がん征圧等の運動、啓発強化を目的として、月間及び週間のPRのため、ポスター・チラシ等の配布を実施した。

がん征圧月間	(9月 1日～9月30日)
結核予防週間	(9月24日～9月30日)
生活習慣病予防月間	(2月 1日～2月28日)
- (2) 市町村等が実施する結核、がん又は生活習慣病の予防啓発事業、健康まつり等に参加協力し、パネル等を展示した。
- (3) 令和6年9月15日～16日に結核予防、がん征圧等の運動、啓発事業の一環として「RABまつり」へ参加した。

4 生活習慣病等集団検診従事者研修会

令和7年2月13日 青森市において市町村及び事業所の保健師等を対象に参加者148名を招き研修会を開催した。

第5 検診等協力団体への活動支援

1 青森県結核予防婦人会

- (1) 結核予防週間期間にあわせて活動していた複十字シール運動街頭募金を令和6年9月28日に青森市内2カ所で開催した。

2 青森県よろこびの会(がん克服者の会)

令和6年7月3日 十和田市において参加者25名で総会並びに研修会を開催した。

第6 募 金 活 動

1. 結核予防事業の普及啓発及び資金造成のため、青森県結核予防婦人会、その他関係団体の協力を得て、複十字シール運動の募金活動を次のとおり展開した。

- | | |
|----------|------------|
| (1) 運動期間 | 令和6年8月～12月 |
| (2) 目標額 | 3,500,000円 |
| (3) 募金額 | 1,335,823円 |

2. がん予防事業の普及啓発及びその資金造成のため、会員制による募金運動を次のとおり実施した。

- | | |
|----------|-------------|
| (1) 運動期間 | 令和6年9月～7年3月 |
| (2) 目標額 | 2,000,000円 |
| (3) 募金額 | 2,005,576円 |

個人会員(166人) 757,076円、法人会員(79法人) 1,248,500円

第7 理事会・評議員会・評議員選定委員会の開催

1 理事会

- | | |
|-----------|-------------------|
| 令和6年4月8日 | 理事及び評議員の選定を目的(書面) |
| 令和6年5月31日 | 決算の確定を目的 |
| 令和6年6月18日 | 役員理事選定を目的(書面) |
| 令和6年6月25日 | 理事の選任を目的(書面) |
| 令和7年3月1日 | 次年度事業計画及び予算の確定を目的 |

2 評議員会

- | | |
|-----------|-------------------|
| 令和6年4月15日 | 理事の選任を目的(書面) |
| 令和6年6月18日 | 決算の確定を目的 |
| 令和6年6月26日 | 理事の選任を目的(書面) |
| 令和7年3月21日 | 次年度事業計画及び予算の確定を目的 |

3 評議員選定委員会

- | | |
|----------|---------------|
| 令和6年4月8日 | 評議員の選任を目的(書面) |
|----------|---------------|

第8 会議・研修会の開催及び参加

1 県内の会議等

乳がん検診画像読影委員会	オンライン開催
前立腺がん検診精度管理委員会	
骨密度(骨粗鬆症)検診判定委員会	オンライン開催
特定健康診査等判定検討委員会	
胃がん検診読影委員会	
腹部超音波健診読影委員会	
子宮がん検診管理指導委員会	オンライン開催
大腸がん検診指導管理委員会	
健診従事看護師研修会	
循環器健診従事医師打合せ会議	
肺がん検診読影委員会	オンライン開催

2 県外の会議等

- | | |
|----------------------|-------|
| (1) 結核予防会関係 | |
| 結核予防全国大会 | (岩手県) |
| 事務局長研修会並びに全国支部事務連絡会議 | (東京都) |
| 東北・北海道ブロック会議 | (宮城県) |
| (2) 日本対がん協会関係 | |
| がん征圧全国大会 | (埼玉県) |
| 全国事務局長会議 | (東京都) |
| 東北・北海道ブロック会議 | (岩手県) |

第9 主たる学会の参加

日本消化器病学会	(徳島県)
日本消化器がん検診学会	(愛知県) ハイブリッド開催
日本消化器がん検診学会東北地方会	(宮城県)
東北地区集検放射線技術部会	(宮城県)
日本乳癌検診学会	(群馬県)
日本臨床細胞学会(春期大会)	(大阪府) ハイブリット開催
日本臨床細胞学会(秋期大会)	(千葉県) ハイブリット開催
細胞検査士教育セミナー	(神奈川県) Web開催
日本超音波検査学会	(宮城県) Web開催